

第 60 回全宮古中学校春季野球大会 大会要項

1. 主 催 宮古中学校体育連盟
2. 後 援 沖縄県教育委員会、宮古島市教育委員会、多良間村教育委員会
3. 主 管 宮古中学校体育連盟野球専門部
4. 期 日 令和 9 年 1 月 16 日（土） 予備日：1 月 17 日（日）
競技開始 9：00
5. 会 場 宮古島市民球場
6. 参 加 資 格
 - (1) 宮古地区の中学校に在籍する 1・2 年生で編成されたチームとする。なお、1 校 1 チームとする。
 - (2) 一般社団法人沖縄県野球連盟に登録していること。（硬式ボールを使用している団体に登録又は大会に参加している者は、連盟に登録することはできない）
 - (3) 選手の引率は出場校の校長・教員とする。監督等は出場校の校長・教職員（常勤）とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で、地区県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては 1 名のみとする。
 - (4) 参加資格の特例を認める。「開催基準 8（6）複数校合同チーム」
 - (5) 県・九州・全国大会の代表権を獲得した場合は宮古地区代表としての自覚と責任を持ち、地区中体連の計画および指導を遵守し、県大会・九州大会・全国大会へ参加できる学校であること。
 - (6) 宮古中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこと。
 - (7) 拠点校部活動や地域クラブ活動の参加資格の詳細については、沖縄県中学校体育大会開催基準「特別規程」による。
7. 競 技 規 則
 - (1) 2026 年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟競技者必携、本大会競技規則・特別規則に則って行う。
 - (2) 競技方法は総当たりのリーグ戦方式とする。
 - (3) 試合は 7 回戦とし、得点差によるコールドゲームは 3 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差とする。また、日没・降雨などで試合が成立しない場合は、特別継続試合を適用する。
 - (4) 7 回を完了して同点の場合は、タイブレーク方式とする。（継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。すなわち 0 アウト・二塁の状態にして投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決定するまで続行する。※天候の都合で日程変更がある場合、本部で協議の上、特別ルールを設定する。
 - (5) 背番号は 1～25 番を使用し、原則としてポジション順とする。

8. 試 合 球 全日本軟式野球連盟公認球（ケンコーボールM号）
9. 表 彰 (1) 優勝校には優勝旗（持ち回り）、賞状を授与する。
(2) 準優勝校には賞状を授与する。
(3) 個人賞は優勝、準優勝チームから殊勲、敢闘、打撃（各1名）を表彰し、賞状楯を授与する。打撃賞の規定打席数は試合数×2打席以上とする。但し、タイムブレーク方式は除く。打率が並んだ場合は、打席数、打数、安打数、長打率の順で決定する。
10. そ の 他 (1) チームの責任は、引率者において、一切負うものとする。
(2) 大会細則については別に定める。
(3) 優勝校には、「第34回沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会」への出場資格を与える。
(4) 優勝校は、「第6回道進杯争奪全宮古中学校軟式野球大会」の第1シード、準優勝校は第2シード、第3位は第3シードとする。

第60回全宮古中学校春季野球大会 特別規則

1. 試 合 時 間 (1) 試合は1時間30分と計算し、その60分前までには集合する。
2. オーダー交換 (1) オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。（4部提出）
(2) 攻守決定は、前の試合の終了後（準備が出来次第）に監督立ち合いの上、主将が行う。ただし、連続試合の先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
3. ダッグアウト (1) 抽選番号の若い方が1塁側とする。ただし、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。
(2) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。
(3) ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。（ベンチ内1個とする）
4. 応 援 (1) 中学生にふさわしい応援をする。
(2) 応援は攻撃側のチームが優先に行う。
5. 用 具 沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部「用具・装具規定及び運用規定」及び「競技部資料」に記載されている内容を適用する。
6. 試合のスピード化 (1) ベースコーチ・打者・次打者の4名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動すること。
7. そ の 他 (1) 投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しない。
(2) マネージャー及びスコアラーが生徒の場合、ユニフォームか制服とする。
(3) 選手交代は、監督が球審に告げること。
(4) 各チームのゴミは必ず責任を持って持ち帰る。最終試合の両チームは、ダッグアウト、スタンドの清掃をすること。
(5) 球場内でのアップは、チームTシャツか試合用のユニフォームのいずれかで統一する。防寒対策としてのグラウンドコート等は、チームで統一したものでも可とする。ただし、試合中にベースコチャー等でグラウンドに立つ場合は、チームで統一したものを着用する。